



はっち放送部レポート／はっちの施設を使ってみよう



パフォーミングアーツ公演／南部菱刺し天羽やよい展





イベントスケジュールはこちら

4
APR

5/29(水)・30(木)

さくら野×はっち マチニワ京舞披露
～はんなり舞妓をどり～

さくら野百貨店の「第19回 大京都展」で来八する京都の舞妓さんが
マチニワで京舞を披露します。



5
MAY

6/1(土)～7/7(日)

アンブレラスカイ

マチニワには透明感のあるカラフルな
ビニール傘、はっち会場では市民のみな
さんがデコレーションを施した拾得物
を活用した傘を展示し、梅雨の時期を
ポップに華やかに彩ります。



6/8(土)・9(日)

マチニワ大道芸
2024

マチニワに大道芸パフォー
マーが集合!日曜日にはプロ
パフォーマーから技を学ぶ、
体験ひろばもあります。



6
JUN

7/24(水)～28(日)

2024 杉本敦子
創書 色紙展 PART XIII

デーリー東北新聞社の文芸
欄に掲載された「天位」入選
作品を、書家の杉本敦子さん
が色紙書写作品として展示
します。



7
JUL



7/31(水)～8/4(日)
お祭りinはっち2024

八戸三社大祭をいろいろな角度から楽し
める企画をご用意。はっちで学んで三社
大祭を見に行きましょう!



8
AUG

8/23(金) 盆踊りディスコ

障がいのある人もない人も、子ども大人も、踊り
と音楽でつながる盆踊り企画。みんなでリズムに
合わせて自由に身体を動かしましょう。



9/1(日) プロジェクト大山
キッズダンスプロジェクト

「舞台づくり学校2024」
成果発表公演

子どもたちが約1か月半をかけて、衣装・
音楽・ダンスづくりを行い、その成果を
発表します。NHK Eテレ「みいつけた!」
のダツイジョ役でお馴染みの古家優里
プロデュースのダンス公演。



9
SEP

9/7(土)・8(日)

タテヨコ企画
演劇公演
「谷繁2」

東京・大阪を中心に活動する劇団
「タテヨコ企画」の演劇公演。馬鹿
馬鹿しさの中にも垣間見える親子
愛や夫婦の情愛を描いた作品。



10
OCT

10/4(金)・5(土) 予定

八戸横丁月間 酔っ払いに愛を
横丁オンリーユーシアター2024

横丁の路地や空き店舗を舞台に繰り広げられる短いライブパ
フォーマンスを楽しむイベント。ダンスや演劇などのステージを
ハシゴして観覧するもよし、ほろ酔い気分で路上パフォーマ
ンスを楽しむもよし! いつもと違う横丁を楽しめます。



PICK UP EVENT 1



パフォーミングアーツ公演

タテヨコ企画演劇公演「谷繁2」

9/7(土) 18:00~19:10

8(日) 14:00~15:10

会場 はっち2階 シアター2

東京・大阪を中心に活動する劇団「タテヨコ企画」の演劇公演。「谷繁(たにしげ)」の初演は2012年。劇団の人気演目となり「谷繁2」の上演で第一回「日本みどりのゆび舞台芸術賞」選考委員賞を受賞。今回八戸で初上演します。

あらすじ

独居老人であった父の葬儀を終えた息子とその妻。遺言書には「すべてを“谷繁”に譲る」とだけ書いてあった。一体どういうことなのか?“谷繁”とは誰のことなのか?皆目見当が付かない二人は手がかりを求めて亡父の終の住処を訪れる。すると誰も住んでないはずの家の中に、ソイツラは居たのである……。



＼公演の見どころ／

タテヨコ企画から八戸のみなさんへメッセージ

八戸のみなさん、こんにちは。東京の劇団タテヨコ企画です。はっちでお芝居をさせていただきます。見どころは、ずばり人ではない「谷繁」という存在でしょうか。作品のテーマは「相続」。遺品整理に来た息子夫婦は亡き父へ思いを馳せますが、「谷繁」が関わることで物語は不条理な方向へ……まるで落語の人情噺のような「谷繁2」を、どうぞお楽しみください！



タテヨコ企画

東京、大阪を中心に活動。1999年、劇作家・演出家・舞台美術家の横田修と、俳優・館智子により結成。2016年からは俳優・青木柳葉魚も演出を担当。穏やかな日常の中に見え隠れる人間の普遍的な機微を、時にユーモラスに時に不可思議に描く横田作品と、泥臭い人間関係を演劇のドラマ性と俳優の熱量に着目して描く青木作品。2人の異なる作風の演目を俳優それぞれが説得力のある存在感と鋭敏な関係性を持って繋ぎ紡いで作品を制作する。



予告

2024年度パフォーミングアーツ公演今後のスケジュール

PANCETTA 演劇公演 「声」

12/7(土)・8(日)



「生きることを、面白がる」をコンセプトに活動するパフォーマンスユニット。コロナ禍にお世話になっていた劇場がSNSで「劇場費をお値打ちにするので公演をしませんか」という“声”をささやいてくれたことにより創作された作品。さまざまな“声”を軸に複数の物語がつながり、“声”について考える連作短編集を上演。

アトリエ・センターフォワード 演劇公演 二人芝居 「演劇落語 ～宿屋の仇討・抜け雀～」

2025/3/1(土)・2(日)



古典落語の話芸と演劇の身体性を融合して贈る新しいエンターテインメント演劇。演者二人で登場人物すべてを演じ、誰も動かないから想像が広がる話芸の特性を最大限に維持しながら、実際に走り回り物語の面白さや奥深さを引き出す。宿屋で繰り広げられるお噺「宿屋の仇討」、「抜け雀」の2つを上演。

PICK UP
EVENT 2

天羽やよい展

—名もなき南部女に捧げる刺しの花—

9/14(土)~29(日) 10:00~17:00

※火・水曜日休場

※金・土曜日は19:00まで



入場
無料



ひしぎ 南部菱刺しとは？

南部菱刺しは、青森県南部地方に伝わる刺し子で、津軽地方のこぎん刺し(青森県)、庄内刺し子(山形県)とともに日本三大刺し子に数えられる伝統的な手しごとです。菱刺しはこぎん刺しと同じく、布の目を数えながら糸を刺していきますが、菱刺しは2、4目と偶数目を、こぎん刺しは1、3目と奇数を刺して一段一段積み上げていく違いがあり、前者は菱形、後者は正方形の模様が出来上がります。

菱刺しは、布の気密性を上げて寒さを防ぎ貴重な布を補強する生活の知恵でした。1926年にはじまった民藝運動の柳宗悦さんがその美しさを高く評価したことで、地元でも復興運動がはじまりました。八戸市では民俗学者の小井川潤次郎

さんが中心となり、技術の継承や古物の収集が行われました。菱刺しは1996年(平成8年)に青森県伝統工芸品に指定され、現在9名の伝統工芸士と愛好家によって技術の継承がなされています。



南部菱刺しの「型コ(かたこ)」とこぎん刺しの「モドコ」。
白はどちらも「うめのはな」、黄色は「猫のまなぐ(目)」。
同じ名前も型でも南部菱刺しとこぎん刺しでは違った形になる。

会場 はっち 2階 シアター2

南部菱刺しのさまざまな型コ(菱形の模様)を組み合わせ、まるで絵筆で抽象画を描くように、針と糸で独創的な菱刺しを施す天羽やよいさん。本展覧会では、天羽さんが2017年から刺し続けてきた未発表の新作帯およそ20本を中心に、菱刺しの魅力と天羽さんの創作活動についてご紹介します。

天羽さんの菱刺しは、布を隙間なく刺し埋めていく「総刺し」を旨としています。それは、寒さ厳しい東北で生き抜くため、家族の衣にびっしりと菱刺しを施した南部女たちへの畏敬の念として自らのものづくりに課した姿勢です。菱刺しに出会ってからおよそ半世紀、日々朝から日が暮れるまで、刺し続けるという天羽さんの手しごとは、菱刺しを行ってきた名もなき南部女に捧げる祈りのふるまいなのです。

総刺しの密度と柔らかな草木染めの糸が魅せる、美しく力強い天羽やよいの刺しの世界をどうぞお楽しみください。



PROFILE

あもう
天羽やよい

南部菱刺し制作者・青森県伝統工芸士/
1948年東京生まれ、1975年より八戸市在住

南部菱刺しの原点ともいえる総刺しで作品を制作する天羽さんは、青森県出身の民俗学者・故 田中忠三郎さん(1933-2013)からも作品や制作姿勢を高く評価され、伝統工芸の染織分野では全国的に注目されてきた作家です。1984年から2017年まで、個展や主宰教室「梅の花工房」の作品発表展を八戸市や東京、盛岡などで開催してきました。



hacchi×BeFM はっち放送部



放送女子がラジオ番組を作りました！

はっちの放送スタジオを使って、BeFMさんとのコラボレーション企画「はっち放送部」を立ち上げました。学生が自ら企画や収録、編集まで行い、実際に自分たちでラジオ番組づくりをしてみようという企画。2024年3月の放送に向け、放送女子が番組づくりをしました。

START!



1. ミーティング

BeFMパーソナリティーの八奈見さんから、企画、番組構成、話し方などラジオ番組づくりのポイントを教えてもらいました。どんな番組にしたいか話し合い、「ジェネレーションギャップ」をテーマに番組を作ることに決定！



3. 機材レクチャー

BeFMの奥瀬さんに、放送スタジオの機材の使い方を教えてもらいました。収録に使うマイク、PA機器の操作を覚えしました。



放送スタジオ

はっち1階にはサテライト放送が可能な「放送スタジオ」があります。平日の日中にはコミュニティラジオ局BeFMの生放送が行われ、八戸の旬な情報をお届けしています。13:10-13:30には、はっちの情報コーナー「はっちi」も放送しています。



2. インタビュー

「中心街」と「学校生活」についてのジェネレーションギャップを集めるため、さまざまな年代の方にインタビュー！街にくり出し、緊張しながらも市民のみなさんの声を集めました。



4. 収録

本編と番組CMの2種類を収録。本編ではゲストも招き、楽しくトーク！



編集作業を経て、放送！

今回制作した
ラジオ番組はこちら



COMMENT

放送部学生



- 自分が今後進みたい道に向けての第一歩として、きっかけになればと今回挑戦した。
- 学校の活動ではスタジオ内での収録がメインだが、今回のように実際に中心街に出て声をかけてインタビューをしたのは初めてだったので新鮮だった。
- 自分で番組を企画するのが楽しかったが、インタビューが予想以上に難しかった。
- 自分が制作に携わった番組が学校以外の人にも届けられるので嬉しい。



COMMENT

BeFM 八奈見 條史さん

学生さんと話してみると、映像のあるテレビ的なイメージはできるが、音だけの世界となると馴染みがなく、新鮮な反応が返ってきたのがおもしろかった。公共の電波なので老若男女たくさんの人に向けた番組づくりになることを重点的にレクチャーしました。学生が自ら考え、意見を出し合い、自主性を大事にした企画なので、今後も放送部に参加したいという行動力のある学生さんが集まってくればいいですね！



はっち INFORMATION

はっちにはこんな施設もあるよ! /

貸館スペースを
使ってみよう!

はっちにはシアターやギャラリーのような発表会や展示会向きの大きい施設のほかに、さまざまな用途で使用できる小規模の施設もあります。日々の活動の場所としてぜひお気軽に使ってみてくださいね! 見学は随時受け付けています。

使用例

1F 番町スクエア

木製ステージを備えた屋外の多目的広場。隣接したシアター1と組み合わせて、2つのエリアを連動させた利用もできます。※音の出るイベントは事前にご相談ください。



使用例



3F 八庵

10畳の和の空間。フラットにも掘りごたつ形式にもでき、書道教室や句会、会議などに利用できます。

使用例

4F 食のスタジオ

調理台や調理器具、食器が揃ったキッチンスタジオ。調理の様子を映すカメラモニターもあり、料理教室などに利用できます。



はっち
780
12
hacchi

八戸ポータルミュージアム はっち <https://hacchi.jp>

〒031-0032 青森県八戸市三日町11-1

TEL | 0178-22-8228 FAX | 0178-22-8808 E-mail | hacchi@city.hachinohe.aomori.jp

開館時間 | 9:00~21:00 ※こどもはっち 9:30~16:30 休館日 | 火曜日 (祝日の場合その翌日)、12/31 及び 1/1

ACCESS ※一般駐車場はございません。周辺の有料駐車場をご利用ください。

バス | 八戸駅東口から八戸市中心街方面行き [約25分] 八戸中心街ターミナル「八日町」下車すぐ

鉄道 | 八戸駅から JR 八戸線「本八戸駅」下車 [徒歩約10分] 車 | 八戸駅から車 [約20分]

航空機 | 三沢空港から八戸市内シャトルバス [約55分]

フェリー | 八戸港フェリーターミナルから車 [約15分]

発行 | 八戸市 商工労働まちづくり部 八戸ポータルミュージアム 発行日 | 2024年3月 イラスト | 就労継続支援 B 型事業所あおば

